



2023年度全社安全衛生管理活動計画

【衛生編】

1

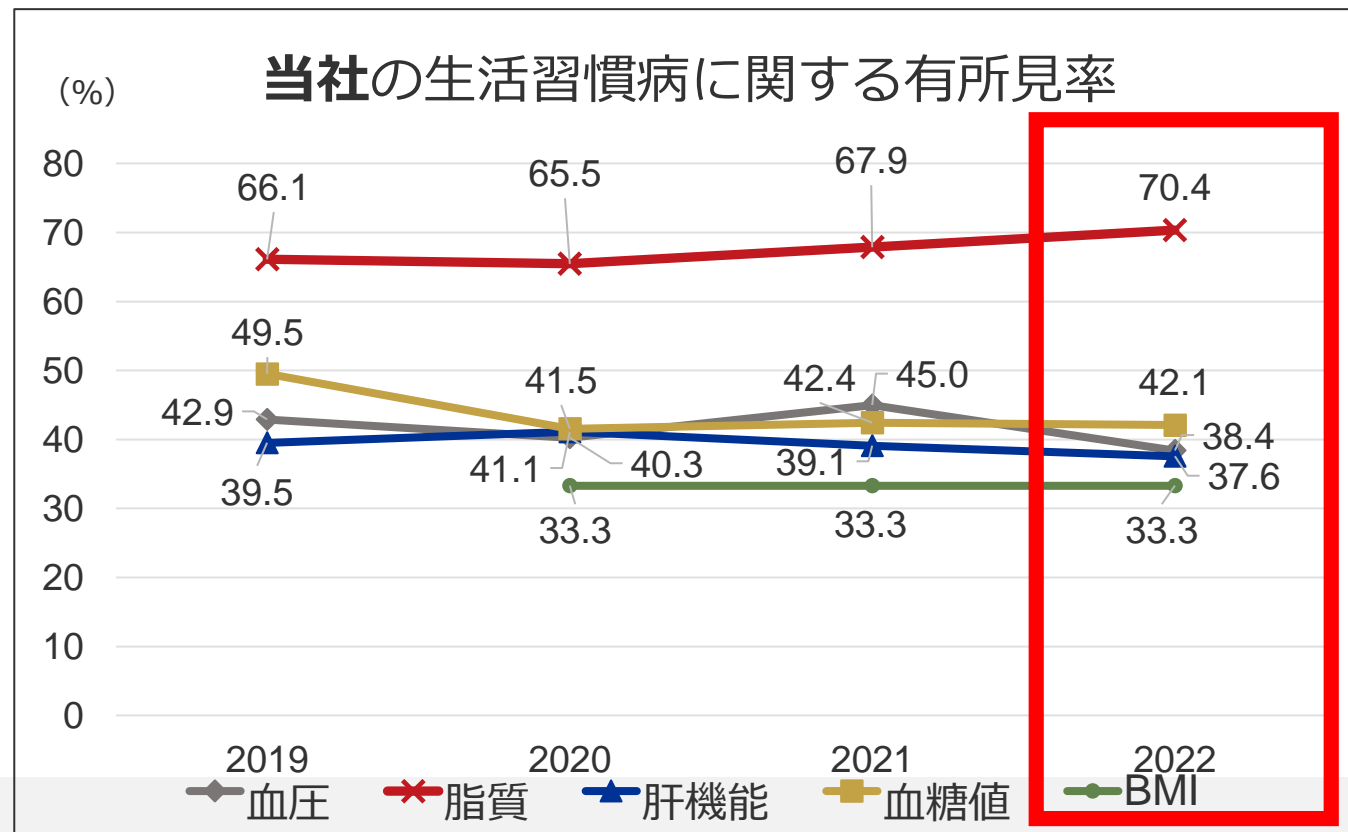
現状分析

(1) 定期健診結果における有所見者

◆ 有所見者率は92.5%で、前年度より低下しているが、依然として高水準。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
有所見率 (%)	91.3%	92.1%	93.3%	92.5%

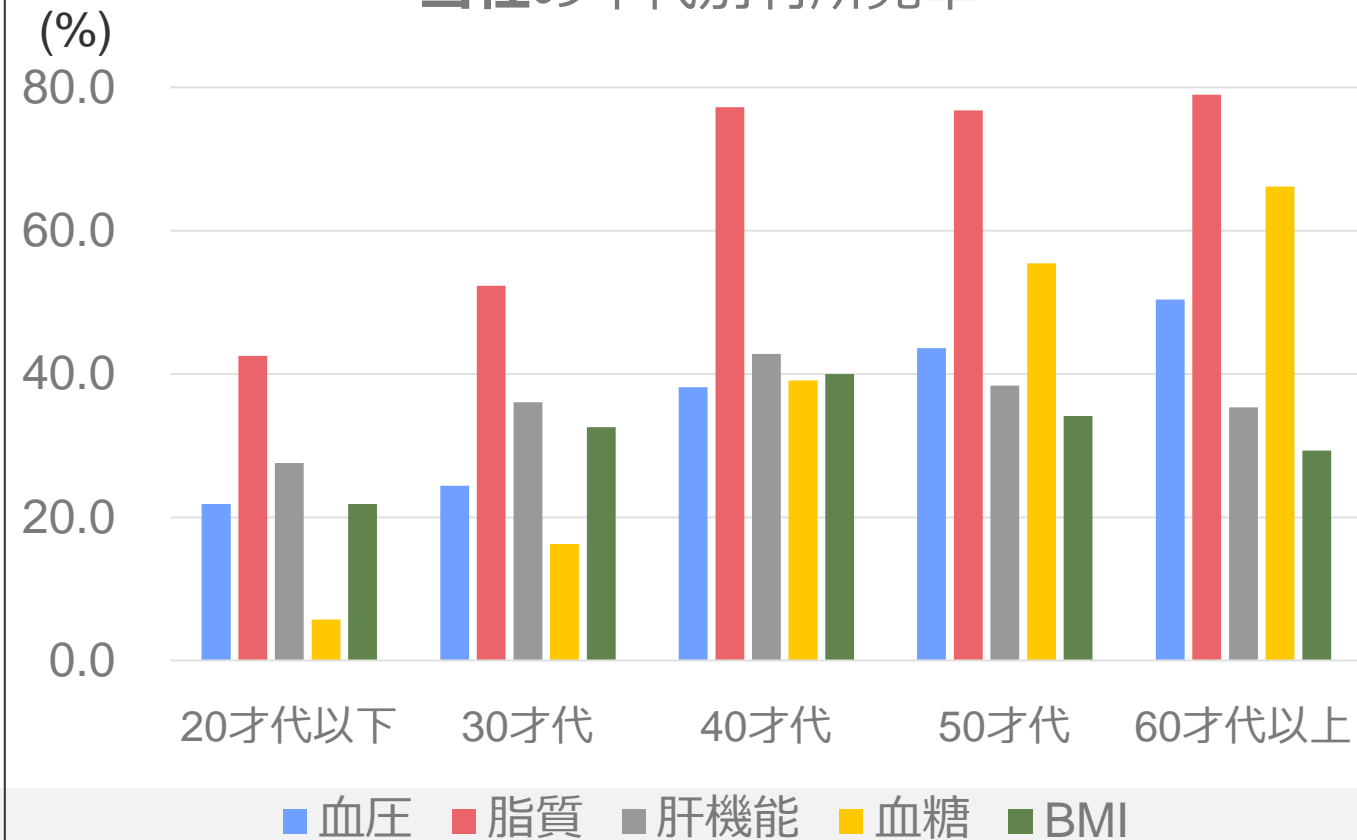
◆ 生活習慣病に関する5項目はほぼ横ばい。



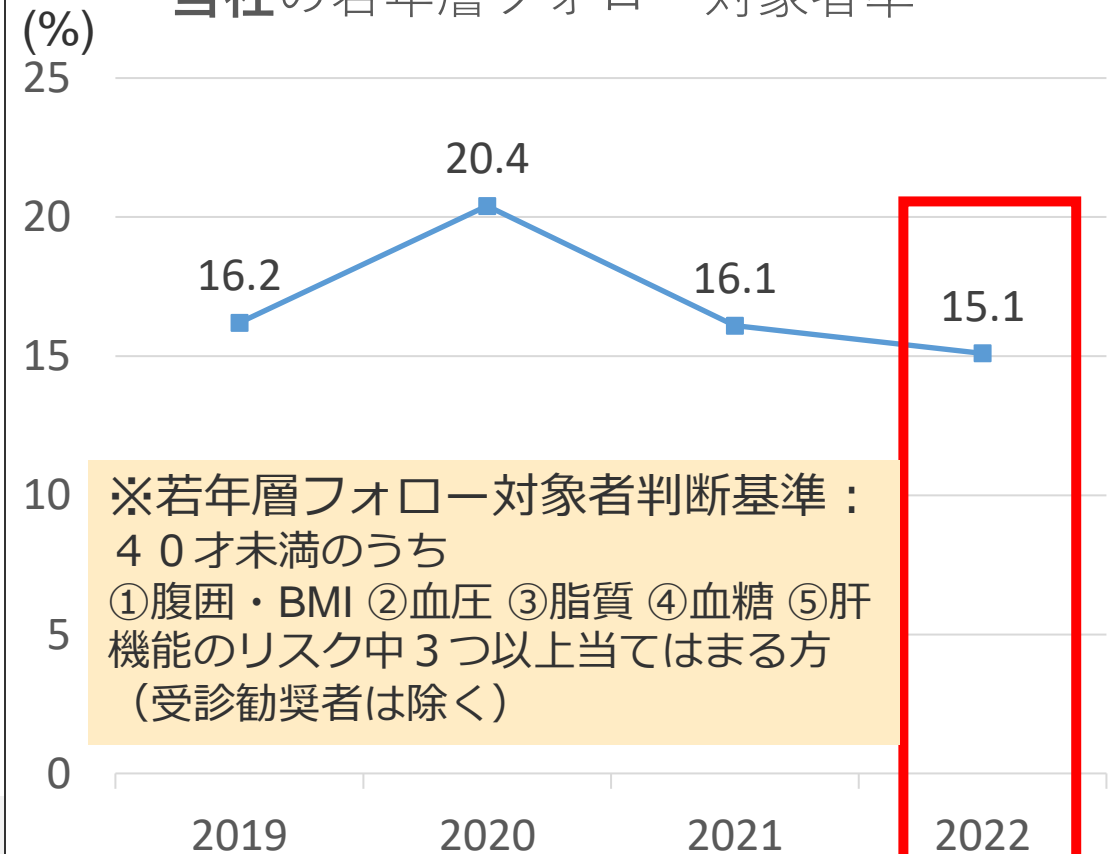
(1) 定期健診結果における有所見者

- ◆生活習慣病に関連する5項目についての年代別有所見率は、**血圧**、**脂質**、**血糖値**は年代とともに増加傾向。**肝機能**、**BMI**は40才代がピーク。
- ◆若年層（40才未満）における有所見率も高い水準であるため、2022年度の健診結果において生活習慣病に罹患するリスクが高いと判断した者に対して保健指導を実施。対象者率は徐々に低下傾向。

当社の年代別有所見率



当社の若年層フォロー対象者率

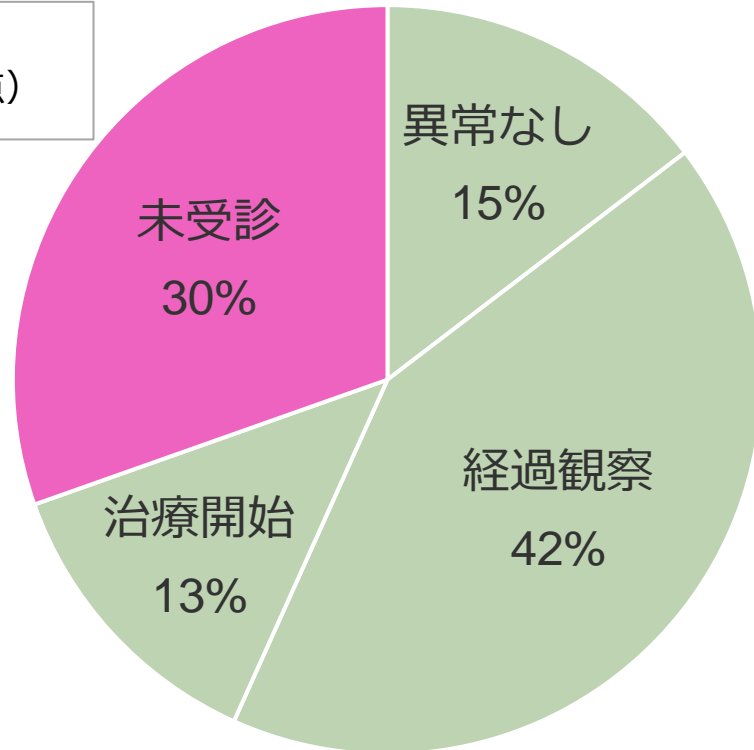


(1) 定期健診結果における有所見者

- ◆産業医により、再検査・精密検査が必要であると判断された、受診勧奨対象者のうち、受診率78%。未受診率22%と減少した。受診結果の内訳は、下記グラフ参照。

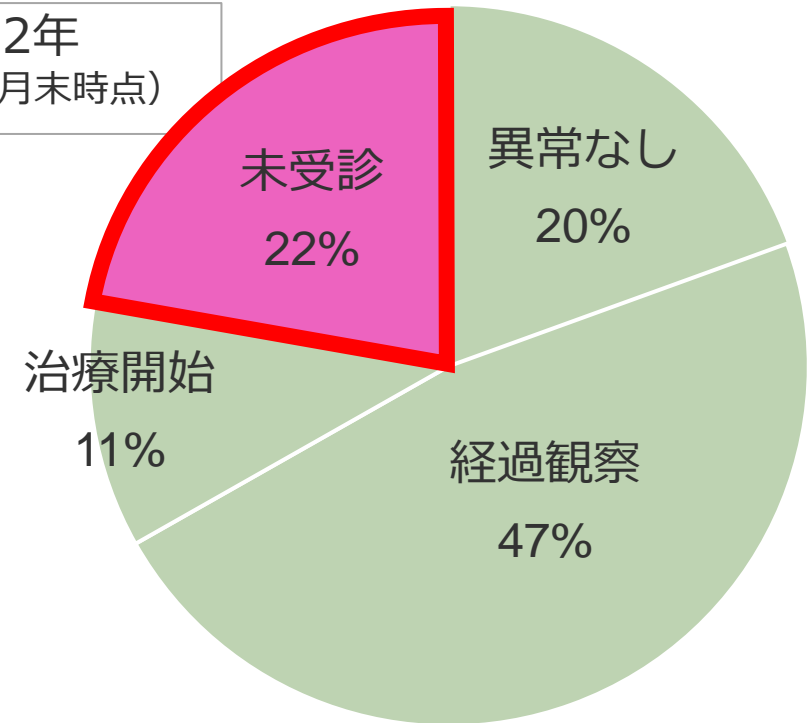
受診率と受診結果

2021年
(12月末時点)



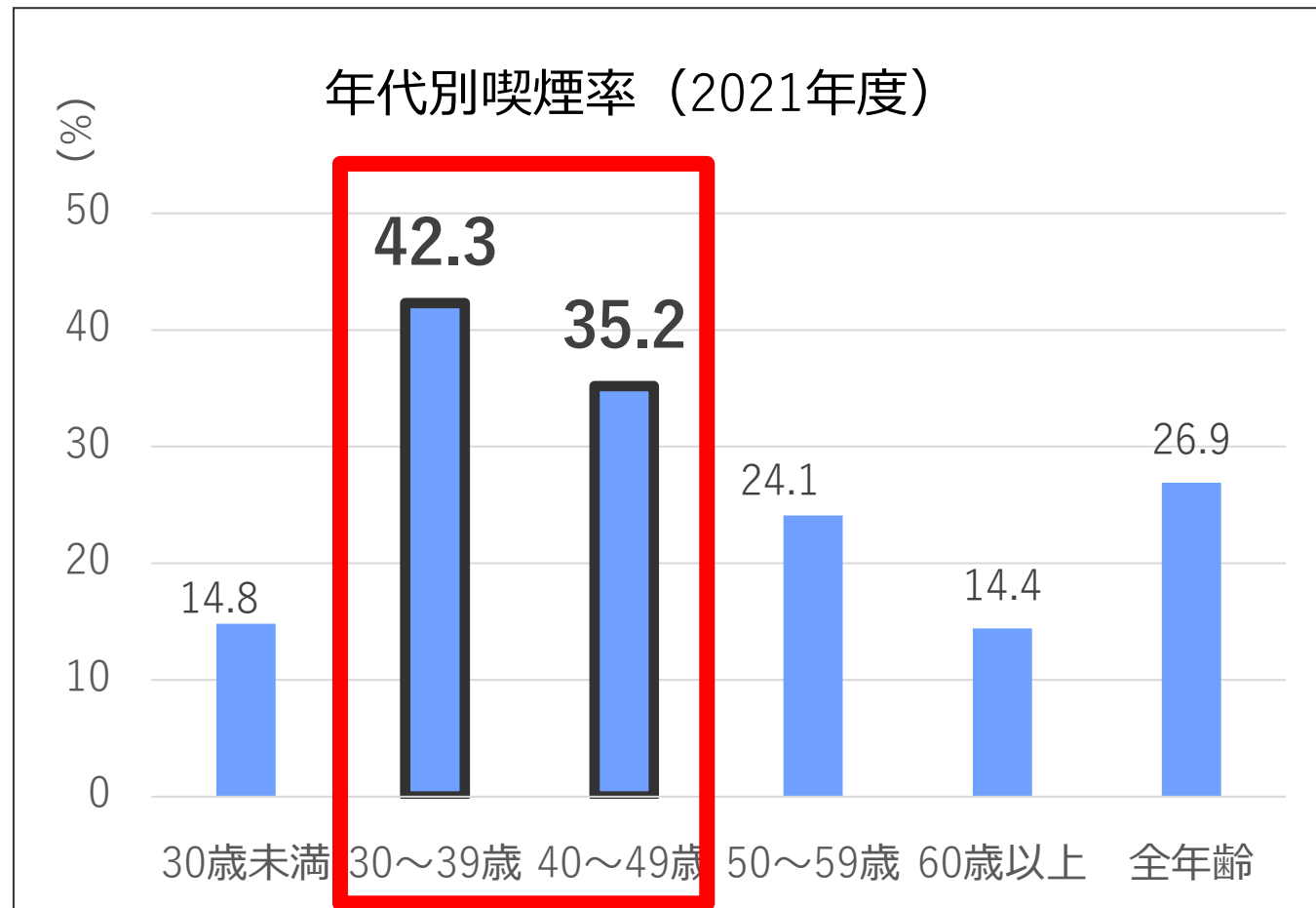
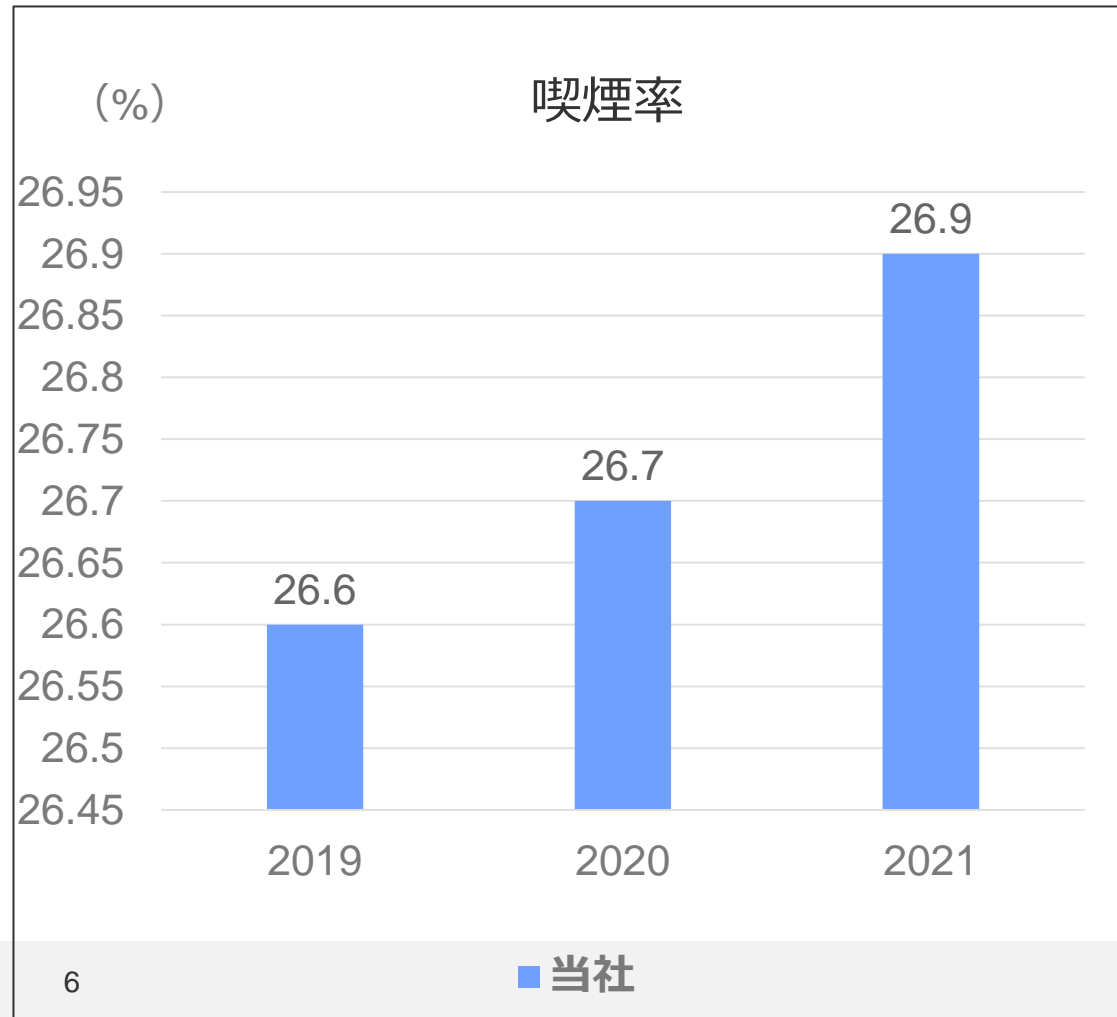
受診率と受診結果

2022年
(12月末時点)



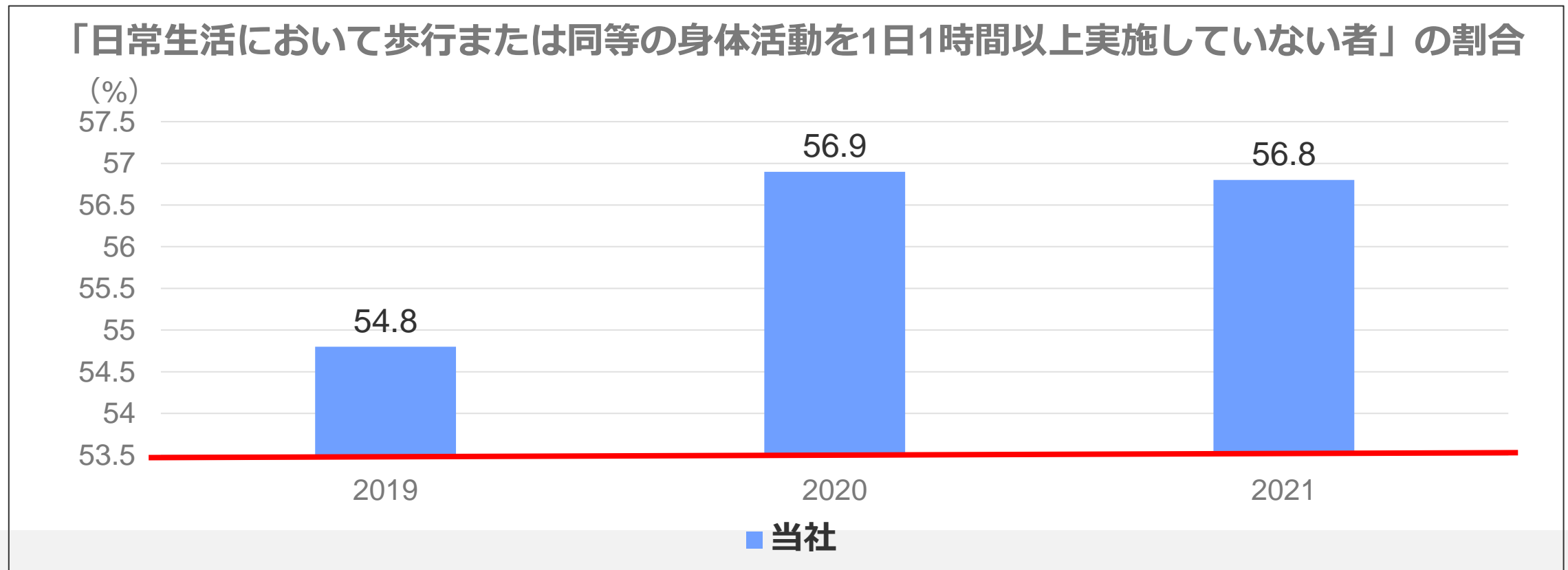
【参考】問診結果（喫煙率）

- ◆ 「喫煙率」について、高水準。年代別では、**30代－40代が35%以上と高値。**
 ⇒発がん性物質により、多種のがん及び認知症、生活習慣病（脳卒中、心臓病、慢性的な肺疾患、糖尿病、慢性腎臓病等）を発症するリスクがあるため、就業時間内禁煙等、組織として禁煙対策を推進していく必要がある。



【参考】問診結果（歩行状況）

- ◆歩行について、「日常生活で歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していない者」の割合は増加傾向。
⇒運動不足が続くと筋肉量減少→血液の流れや糖・脂質などの代謝低下により生活習慣病の要因となる。ウォーキングラリーやPepUP等を活用し、年間を通じて組織全体で運動増進のムードアップを図っていく必要がある。



【参考】当社の特定保健指導実施率（2021年度までの結果）



◆特定保健指導実施率は、昨年に比べ上昇。

⇒有所見者削減のため、さらなる実施率向上に努める必要がある。（次年度目標に追加）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
当社 特定保健指導 実施率	60.3%	63.5%	41.6%	68.0%

【特定保健指導対象者判断基準】※40歳以上

A 腹囲

男性 **85cm**以上
女性 **90cm**以上

B BMI

腹囲は基準未満だが
BMI **25** 以上

① 血圧

●収縮期 **130mmHg**以上 または
●拡張期 **85mmHg**以上

② 脂質

●中性脂肪 **150mg/dl**以上 または
●HDLコレステロール **40mg/dl**未満

③ 血糖

●空腹時血糖 **100mg/dl**以上 または
●ヘモグロビンA1c **5.6%**以上

④ 喫煙歴

上記①～③にひとつでも該当すればカウント

A に該当し①～④が

2つ以上は **積極的支援**
1つは **動機付け支援**

B に該当し①～④が

3つ以上は **積極的支援**
1～2つは **動機付け支援**

(2) 健康状態による影響・損失



アブセンティーズムとは、健康問題による欠勤・休職など（テクノは1か月以上の休務）、業務自体が行えない状態を指す

	2020年度	2021年度	2022年度
アブセンティーズム*1	3.05%	1.99%	1.36%
ワーク・エンゲイジメント*2	—	—	2.45

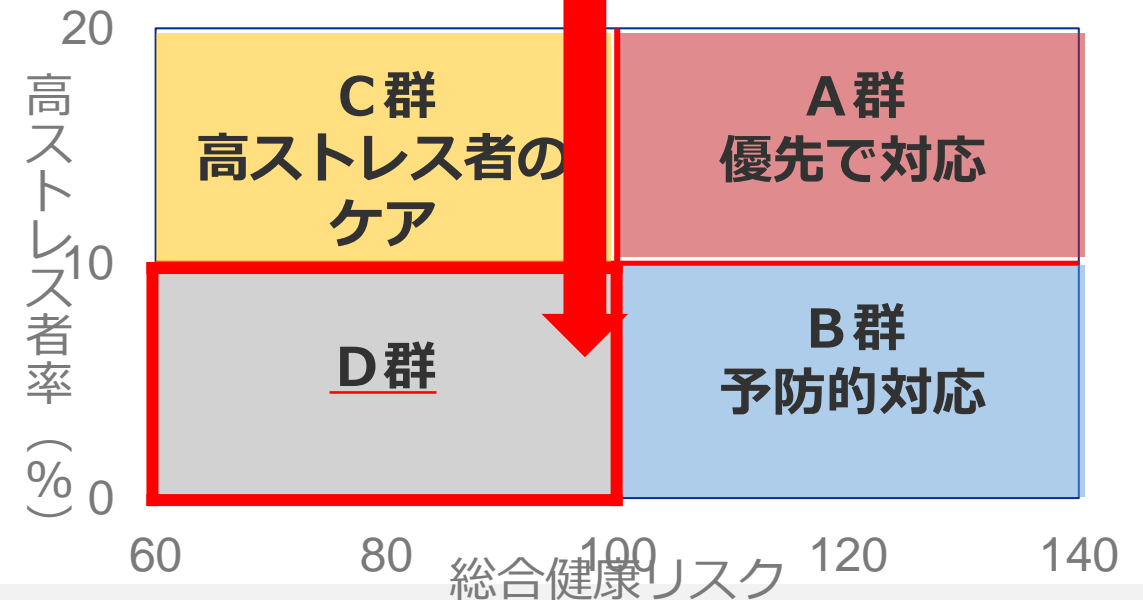
*1：疾病休務者割合（30日以上）

*2：新職業性ストレスチェックのワークエンゲイジメントに関する設問（2項目）による

(3) ストレスチェックの実施結果

◆当社 総合健康リスクと高ストレス者率：「D群」に属し、健康問題のリスクは低い。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
当社 総合健康リスク	84	82	81	77
当社 高ストレス者率	11.7%	9.2%	9.8%	8.9%



2

2022年度活動に対する実績・評価（衛生編）

(1) 有所見者の削減

【実施項目】	【項目】	【実施内容】	【目標】	【実施結果】	【評価】
健康保持増進	(1) 有所見者の削減	(1) 生活習慣病の改善	面談等による生活指導の実施 健診有所見率（直近） （2023年までは下記評価指標を設定） ・ 血圧 :30%以下 ・ 脂質 :50%以下 ・ 肝機能:30%以下 ・ 血糖値:40%以下	2022年度の有所見率 ・ 血圧38.4% ・ 脂質70.4% ・ 肝機能37.6% ・ 血糖値42.1% （参考）2021年度の有所見率 ・ 血圧 44.9% ・ 脂質 :67.8% ・ 肝機能:39% ・ 血糖値:42.4%	未達成 面談にて健康相談を実施し各有所見率の改善に努めるも、目標未達成。対象者が全従業員の8割程度であるため、サポートの継続が困難であった。
		生活習慣病発症リスクの高い若年層（40歳未満）の従業員に対する継続的なフォローの実施	若年層フォロー対象者率13%以下	2022年度： 対象者率15.1% 参考）2021年度： 対象者率16.1%	未達成 対象者率は徐々に低下傾向ではあるものの、目標未達成。
		(2) 重篤化予防対策	産業医による要再検・精密検査者の判定および受診勧奨の実施	再検査・精密検査受診率100%	受診率 78% （2022年12月末現在） 参考）2021年度の受診率 2021年12月末時点： 受診率69.8% 2021年3月末時点： 受診率87.4%

(2) メンタルヘルス疾患の削減

【実施項目】	【項目】	【実施内容】	【目標】	【実施結果】	【評価】	
健康保持増進	(2)メンタルヘルス疾患の削減	(1)自己管理によるメンタル不調予防対策	(1)ストレスチェック受検率 100% (2)高ストレス者に対する面談等の実施 100% (3)セルフチェック実施率 80%	(1)ストレスチェック受検率100% (2)高ストレス者に対しては、全員に面談やメールによるフォローを実施。 (3)セルフチェック実施率86.0%	達成 セルフチェック習慣化の定着向け、サポートを継続する。	
		(2)管理職によるメンタル不調予防対策	管理職（ラインケア）教育の実施（新たな管理職および希望者）	アンケート実施 (1)知識の定着度：80% (2)職場での活用度：80%	管理職全員を対象に管理職（ラインケア）教育を実施 (1)知識の定着度97% (2)職場での活用度79%	達成 次年度も同目標にて継続する。
		(2)管理職によるメンタル不調予防対策	ストレスチェック集団分析結果の活用による改善策の検討	2022年度のストレスチェック集団分析結果:高リスク部署（A群）の減少	2022年度のストレスチェック集団分析結果、高リスク部署（A群）は4部署（2021年度）から3部署（2022年度）に減少。（10人未満の部署を除く）	達成 次年度も同目標にて継続する。
		(1)臨時健康診断（産業医面談）実施の徹底 (2)60時間以上の時間外勤務者について体調確認の実施	面談実施率 100%	面談実施率 100% （他社への派遣者含む）	達成 次年度も同目標にて継続する。	

3

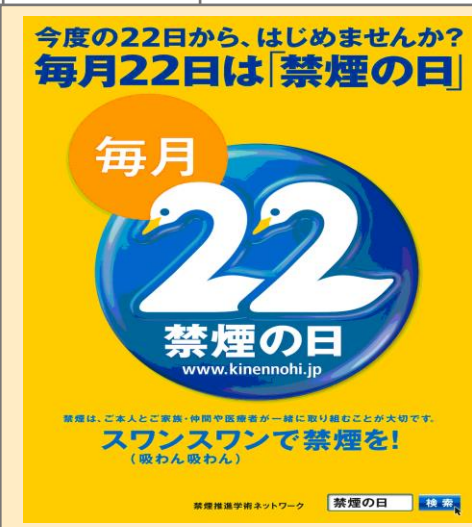
2023年度安全衛生管理活動計画（衛生編）

2023年度安全衛生管理活動計画（有所見者の削減）



健康保持増進

【実施項目】	【項目】	【実施内容】	【目標】
<p>(1)有所見者の削減</p>	<p>(1)生活習慣病の改善</p>	<p>(1)特定保健指導対象者（40歳以上）への受診の徹底。 事業所ごとに有所見者の傾向を分析・対策の検討</p> <p>(2)ウォーキングラリーの実施（4,10月 年2回）</p> <p>(3)禁煙対策：①禁煙外来への受診勧奨及び受診費用補助（上限1万）の実施 ※禁煙外来治療を終了かつ終診後半年間禁煙を継続した者に限る。 ※35歳以上の場合は、（1日の平均喫煙本数）×（喫煙継続年数）が200以上</p> <p>②就業時間内の禁煙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デー(5月31日) ・禁煙週間(5月31日～6月6日) ・禁煙の日(毎月22日) <p>※禁煙の日（日本循環器学会等17の医科歯科系学会が参加） 世界禁煙デー（WHO） 禁煙週間（厚労省）</p>	<p>(1)特定保健指導実施率：100% [2022年度実績：68%]</p> <p>(2)10月ウォーキングラリー参加率：70%以上 [2022年度実績：41%]</p> <p>(3)禁煙対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ①喫煙者に対する禁煙外来受診推奨の実施：100% ②禁煙の日等 就業時間内 禁煙パトロールの実施：100% ③喫煙者に対する禁煙メールの配信（毎月）：100% <p>《上記(1),(2)の取組みの結果として》</p> <p>BMI 肥満者の減少：30% [2022年度実績 肥満者：33%] ※BMI計算『BMI=体重(kg)÷{身長(m)の2乗}』 ・「肥満」=BMI 25以上の者</p>
		<p>40歳未満で生活習慣病発症リスクの高い人に対する継続的なフォローの実施</p> <p>(1)面談等で生活指導の実施 事業所ごとに有所見者の傾向を分析・対策の検討</p> <p>(2)eラーニングの受講</p> <p>(3)ウォーキングラリーの実施（年1回）</p>	<p>(1)健康相談員による保健指導実施率：100%</p> <p>(2)eラーニング受講率：80%以上</p> <p>(3)ウォーキングラリー参加率：100%</p>



* 出典：一般社団法人禁煙推進学術ネットワーク「禁煙の日」シンボルマーク

2023年度安全衛生管理活動計画（有所見者の削減）



【実施項目】	【項目】	【実施内容】	【目標】
健康保持増進	(1)有所見者の削減	(2)重篤化予防対策 (1)産業医による要再検・精密検査者の判定 および受診勧奨の実施 (2)受診勧奨未受診者に対して上長からの受診勧奨の徹底（受診するまでフォローを依頼）	再検査・精密検査受診率：100% [2022年12月末時点：78%]

2023年度安全衛生管理活動計画（メンタルヘルス疾患の削減）



	【実施項目】	【項目】	【実施内容】	【目標】
健康保持増進	(2)メンタルヘルス疾患者の削減	(1)自己管理によるメンタル不調予防対策（セルフケア）	セルフ体調確認テスト（旧セルフチェック）の実施（3か月毎）（セルフケア習慣化を図る）	セルフ体調確認テスト（旧セルフチェック）実施率：100% [2022年度セルフチェック実施率：86%]
		(2)管理職によるメンタル不調予防対策（ラインケア）	全管理職へラインケア教育の実施 ・職場でのフォロー面談を確認する	職場でのフォロー面談実施率 ：100% [【参考】職場での活用度：79%]
			ストレスチェック集団分析結果の活用による改善策の検討	2023年度のストレスチェック集団グルーピング結果 ：A群（高リスク部署）ゼロ
		(3)健康相談員によるメンタル不調予防対策	(1)高ストレス者に対する面談等の実施（年1回）※厚労省のストレスチェック (2)臨時健康診断（産業医面談）実施の徹底（60時間以上） (3)上長による時間外45時間以上の者との体調確認面談の実施確認	(1)高ストレス者に対する面談等の実施：100% (2)面談実施率：100% (3)上長による面談実施率：100%

